



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 株式会社ジャックス 上場取引所 東
 コード番号 8584 URL https://www.jaccs.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 村上 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 齊藤 隆司 TEL 03-5448-1311
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	85,297	4.3	16,385	17.6	16,422	17.0	11,108	14.4
2022年3月期第2四半期	81,780	2.2	13,937	161.4	14,039	159.3	9,708	106.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 14,355百万円 (20.0%) 2022年3月期第2四半期 11,963百万円 (221.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	320.53	319.20
2022年3月期第2四半期	280.51	279.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,360,233	203,706	5.9
2022年3月期	3,215,006	192,217	5.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 196,848百万円 2022年3月期 186,615百万円

(注) 当社は、金融機関等が保有する貸付金等の債務の保証に加え債権の回収を行う業務に係る保証残高を、信用保証割賦売掛金及び信用保証買掛金として連結貸借対照表に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より会計処理を変更し、連結貸借対照表に計上しないことといたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、2022年3月期についても遡及適用後の総資産額及び自己資本比率となっております。なお、会計方針の変更に関する詳細につきましては、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	75.00	—	85.00	160.00
2023年3月期	—	95.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	90.00	185.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,500	4.5	30,500	14.0	30,500	13.9	20,500	11.9	591.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	35,079,161株	2022年3月期	35,079,161株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	408,062株	2022年3月期	431,193株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	34,655,236株	2022年3月期2Q	34,611,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2022年11月11日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日開催前に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

4. 2023年3月期の個別業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	2.7	26,000	10.6	26,000	10.4	18,000	10.4	519.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
3. (参考) 個別業績の概要	12
(1) 個別業績	12
(2) 取扱高	12
(3) その他の情報	12
(4) 四半期個別財務諸表	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、2022年度を初年度とする中期3カ年経営計画「MOVE 70」をスタートさせ、当社グループの持続的成長と企業価値向上を目指し、4つの3年後のあるべき姿と戦略を掲げ取り組んでおります。

- ①強みを活かした国内事業の収益基盤拡充
- ②将来の成長をけん引する海外事業の収益基盤確立
- ③国内・海外の成長を加速する経営基盤の強化
- ④ESG経営の推進

当第2四半期累計期間につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限が徐々に緩和され、ウィズコロナの事業活動を進めてきました。国内事業では、引き続きクレジット事業がけん引し、取扱高が増加しました。また、個人消費に改善の兆しが見られ、カードショッピングの取扱高も堅調に推移しました。海外事業では、各国において新型コロナウイルス感染症における社会経済活動の規制緩和が進んだことにより、取扱高が増加しました。また、2022年6月にはカンボジアの子会社でマイクロファイナンスのライセンスを取得し、融資商品の取扱いを開始するなど事業領域を拡大しております。この結果、連結取扱高は2兆7,141億71百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

連結営業収益は、取扱高の増加に加え、割賦利益繰延残高と信用保証残高の積み上げにより、852億97百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

連結営業費用は、金融費用及び債権良質化の進展により貸倒関連費用が減少しましたが、カード会員数の増加によりカード発行関連費用等が増加したことで、689億11百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

以上の結果、連結経常利益は164億22百万円（前年同期比17.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は111億8百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

「国内事業」

(クレジット事業)

ショッピングクレジットは、引き続き高級腕時計やパソコン関連商品が好調に推移しました。さらに二輪やメディカルにおいては、各種施策を実施するなど積極的な事業展開を進めてきたことで、取扱高及び営業収益が増加しました。

オートローンは、世界的な半導体不足で新車販売が低迷するなどの影響を受けましたが、中古車需要の高まりを受け、大手中古車販売店は積極的な出店攻勢をかけており、中古車販売店との関係強化や各種施策を実施したことで、取扱高及び営業収益が増加しました。また、輸入車販売店においても、各インポーターの販売戦略と連動したファイナンス施策の実施により取扱高の底上げに努めてきました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が増加しました。

（カード・ペイメント事業）

カードショッピングは、カード会員数の増加に加え、行動制限の緩和による消費マインドの回復により取扱高及び営業収益が増加しました。

カードキャッシングは、資金需要の回復と2022年2月にリリースした「mirajitsu cardless」の稼働による上積みが寄与したことで、取扱高が増加しました。営業収益は、キャッシング残高の低下により減少しました。

家賃保証及び集金代行は、既存提携先の安定稼働と新規提携先の拡大により取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高が増加しましたが、営業収益は減少しました。

（ファイナンス事業）

投資用マンション向け住宅ローン保証は、提携先の販売戸数が堅調に推移するも、競合他社の攻勢により当社シェアが低下したことで、取扱高が減少しました。営業収益は、保証残高の積み上げにより増加しました。

銀行個人ローン保証は、目的型ローンの利用活性化を図ってきましたが、半導体不足による新車販売の納期遅延により、主力商品マイカーローンの利用が低迷したことで取扱高及び営業収益が減少しました。

この結果、当事業の取扱高が減少しましたが、営業収益は増加しました。

（その他の事業）

事業資金融資は、需要の拡大により取扱高及び営業収益が増加しました。

リースは、新車販売の納期遅延による影響を受け取扱高が減少しましたが、営業収益はリース残高の積み上げにより増加しました。

この結果、当事業の取扱高が減少しましたが、営業収益が増加しました。

以上の結果、国内事業におけるセグメント取扱高は2兆6,724億77百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント営業収益は746億44百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は148億91百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

「海外事業」

（クレジット事業）

ベトナムやインドネシアでは、二輪や四輪市場において半導体不足による影響を一部受けたものの、各政府のウィズコロナ政策により経済活動が活性化し、各種施策の実施や加盟店開拓に注力したことで、取扱高及び営業収益が増加しました。

フィリピンでは、四輪中古車市場に注力し、営業体制の強化と取扱いエリアの拡大により取扱高及び営業収益が増加しました。

カンボジアでは、二輪市場の回復に伴い営業活動を強化し、加盟店の拡大により取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益は増加しました。

（カード・ペイメント事業）

ベトナムで展開するカード事業は、各種キャンペーン等の実施によりカード会員数が増加しましたが、稼働会員数の低迷により取扱高及び営業収益が減少しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益は減少しました。

（その他の事業）

ベトナムで展開する個人向け無担保ローンは、個人消費の低迷に加え、与信の厳格化により取扱高及び営業収益が減少しました。

インドネシアで展開するリースは、経済活動の回復により取扱高が増加しましたが、営業収益はリース残高の低下により減少しました。

一方、ベトナム及びインドネシアにおいて、上記減少を上回るその他営業収入等が増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が増加しました。

以上の結果、海外事業におけるセグメント取扱高は416億93百万円（前年同期比69.2%増）、セグメント営業収益は106億72百万円（前年同期比15.8%増）、セグメント利益は14億71百万円（前年同期比149.9%増）となりました。

連結セグメント別取扱高

セグメントの 名称	(内訳)	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	クレジット	689,640	26.6	777,133	29.1	12.7
	カード・ペイメント	1,321,664	51.0	1,379,773	51.6	4.4
	ファイナンス	372,322	14.4	306,811	11.5	△17.6
	その他	208,815	8.0	208,758	7.8	△0.0
	国内計	2,592,443	100.0	2,672,477	100.0	3.1
海外	クレジット	20,569	83.5	37,214	89.3	80.9
	カード・ペイメント	395	1.6	374	0.9	△5.3
	その他	3,674	14.9	4,104	9.8	11.7
	海外計	24,639	100.0	41,693	100.0	69.2
合計		2,617,083	—	2,714,171	—	3.7

連結セグメント別営業収益

セグメントの 名称	(内訳)	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	クレジット	29,868	41.2	30,820	41.3	3.2
	カード・ペイメント	21,362	29.4	21,276	28.5	△0.4
	ファイナンス	14,254	19.7	15,244	20.4	6.9
	その他	6,758	9.3	6,862	9.2	1.5
	事業収益計	72,243	99.6	74,203	99.4	2.7
	金融収益	321	0.4	440	0.6	37.0
	国内計	72,565	100.0	74,644	100.0	2.9
海外	クレジット	6,563	71.2	7,528	70.5	14.7
	カード・ペイメント	101	1.1	94	0.9	△6.9
	その他	2,492	27.1	2,850	26.7	14.4
	事業収益計	9,157	99.4	10,473	98.1	14.4
	金融収益	58	0.6	199	1.9	242.4
	海外計	9,215	100.0	10,672	100.0	15.8
国内・海外事業収益計		81,400	99.5	84,676	99.2	4.0
国内・海外金融収益計		380	0.5	640	0.8	68.5
合計		81,780	100.0	85,317	100.0	4.3

(注) セグメント間の内部営業収益又は振替高は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ1,452億26百万円増加し、3兆3,602億33百万円となりました。

これは、立替金は減少したものの、割賦売掛金、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ1,337億37百万円増加し、3兆1,565億26百万円となりました。

これは、債権流動化借入金等有利子負債、支払手形及び買掛金、割賦利益繰延の増加等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ114億89百万円増加し、2,037億6百万円となりました。

これは、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年11月1日付で公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」から変更はありません。

なお、個別業績予想につきましても同様であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	138,790	150,632
割賦売掛金	2,776,898	2,933,913
リース投資資産	144,332	140,162
前払費用	3,670	4,359
立替金	49,868	26,469
未収入金	13,294	14,617
その他	28,212	29,644
貸倒引当金	△28,575	△28,966
流動資産合計	3,126,491	3,270,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,162	9,498
減価償却累計額	△6,004	△6,249
建物及び構築物 (純額)	3,158	3,248
土地	14,986	14,986
その他	11,389	11,862
減価償却累計額	△6,283	△6,707
その他 (純額)	5,106	5,155
有形固定資産合計	23,250	23,389
無形固定資産		
のれん	563	455
ソフトウェア	25,872	26,727
その他	14	14
無形固定資産合計	26,450	27,198
投資その他の資産		
投資有価証券	19,771	18,932
固定化営業債権	833	884
長期前払費用	4,013	4,232
繰延税金資産	3,189	3,136
差入保証金	1,475	1,447
退職給付に係る資産	7,507	7,666
その他	2,690	3,157
貸倒引当金	△668	△643
投資その他の資産合計	38,813	38,813
固定資産合計	88,514	89,400
資産合計	3,215,006	3,360,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	200,092	220,215
短期借入金	312,515	325,188
1年内償還予定の社債	47,370	53,406
1年内返済予定の長期借入金	177,952	174,282
1年内返済予定の債権流動化借入金	183,078	203,477
コマーシャル・ペーパー	423,500	443,500
未払金	3,797	4,438
未払費用	2,167	2,095
未払法人税等	4,512	4,866
預り金	73,880	73,026
前受収益	1,280	1,185
賞与引当金	2,818	2,832
ポイント引当金	2,655	2,799
債務保証損失引当金	1,243	1,174
割賦利益繰延	204,448	214,573
その他	29,378	28,879
流動負債合計	1,670,693	1,755,942
固定負債		
社債	230,314	215,391
長期借入金	708,064	726,125
債権流動化借入金	409,036	454,902
役員退職慰労引当金	4	—
利息返還損失引当金	642	668
退職給付に係る負債	21	18
長期預り保証金	1,961	1,748
その他	2,049	1,729
固定負債合計	1,352,095	1,400,584
負債合計	3,022,789	3,156,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,138	16,138
資本剰余金	30,513	30,540
利益剰余金	131,649	139,812
自己株式	△982	△929
株主資本合計	177,319	185,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,880	8,328
繰延ヘッジ損益	△420	△265
為替換算調整勘定	△238	2,274
退職給付に係る調整累計額	1,074	948
その他の包括利益累計額合計	9,296	11,286
新株予約権	226	226
非支配株主持分	5,375	6,632
純資産合計	192,217	203,706
負債純資産合計	3,215,006	3,360,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益		
事業収益	81,400	84,676
金融収益		
受取利息	65	10
受取配当金	314	383
その他の金融収益	—	226
金融収益合計	380	620
営業収益合計	81,780	85,297
営業費用		
販売費及び一般管理費	60,285	61,666
金融費用		
借入金利息	5,521	5,873
コマーシャル・ペーパー利息	138	129
その他の金融費用	1,897	1,242
金融費用合計	7,557	7,245
営業費用合計	67,842	68,911
営業利益	13,937	16,385
営業外収益		
雑収入	110	46
営業外収益合計	110	46
営業外費用		
雑損失	8	8
営業外費用合計	8	8
経常利益	14,039	16,422
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	110	—
特別利益合計	111	—
特別損失		
固定資産除却損	7	9
投資有価証券売却損	—	4
特別損失合計	7	14
税金等調整前四半期純利益	14,144	16,408
法人税、住民税及び事業税	3,892	4,558
法人税等調整額	510	404
法人税等合計	4,403	4,963
四半期純利益	9,741	11,445
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	337
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,708	11,108

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	9,741	11,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	572	△551
繰延ヘッジ損益	681	258
為替換算調整勘定	1,046	3,320
退職給付に係る調整額	△77	△117
その他の包括利益合計	2,222	2,909
四半期包括利益	11,963	14,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,433	13,098
非支配株主に係る四半期包括利益	529	1,256

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(信用保証割賦売掛金及び信用保証買掛金に関する会計処理の変更)

当社は、金融機関等が保有する貸付金等の債務の保証に加え債権の回収を行う業務に係る保証残高を、信用保証割賦売掛金及び信用保証買掛金として連結貸借対照表に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より連結貸借対照表に計上せず、それに係る引当金を債務保証損失引当金として計上する方法に変更しております。

これまで債権の回収を行う保証業務については「債権・債務とみなされる保証」として貸借対照表に計上する実務慣行に基づき、保証残高を当社が保有している割賦債権と同様に連結貸借対照表に計上しておりました。しかしながら、現状において当社が行っている「保証業務」には様々な業種から幅広く事業者が参入しているなかで、保証債務は偶発債務として認識している事業者が多い状況となっております。また、当社グループのASEAN地域での事業が拡大している状況に加え、株式会社東京証券取引所が2022年4月に実施した市場区分見直しにおいて当社が「プライム市場」を選択したことも踏まえ、海外のステークホルダーへ向けた情報開示を求められる機会がこれまで以上に増えることが想定されます。こうした状況から、債権の回収を行う業務の保証債務についても連結貸借対照表に計上せず偶発債務として認識する方が、他社との財務諸表比較を容易にし、国内外の様々なステークホルダーを含む財務諸表利用者に対して、当社の財政状態についてより有用な情報を提供できると判断したことによるものです。

当該会計方針の変更に伴って、四半期連結貸借対照表は従来の会計処理と比較して、流動資産の信用保証割賦売掛金及び流動負債の信用保証買掛金がそれぞれ1兆6,082億26百万円減少するとともに、当該保証債務残高に対して従来計上していた貸倒引当金については債務保証損失引当金として4億23百万円計上しております。なお、この変更による当第2四期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

また、当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度の連結貸借対照表は、流動資産の信用保証割賦売掛金及び流動負債の信用保証買掛金がそれぞれ1兆6,143億23百万円減少するとともに、対応する貸倒引当金は債務保証損失引当金として4億48百万円計上しております。なお、この変更による前第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

3. (参考) 個別業績の概要

- ・個別業績の概要は法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(1) 2023年3月期第2四半期の個別業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

① 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	71,023	2.9	13,811	11.3	13,821	11.1	9,587	9.4
2022年3月期第2四半期	69,011	2.1	12,410	25.6	12,435	25.7	8,765	27.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	276.65	275.50
2022年3月期第2四半期	253.24	252.14

② 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,239,342	189,262	5.8
2022年3月期	3,118,872	183,092	5.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 189,035百万円 2022年3月期 182,866百万円

(注) 当社は、金融機関等が保有する貸付金等の債務の保証に加え債権の回収を行う業務に係る保証残高を、信用保証割賦売掛金及び信用保証買掛金として貸借対照表に計上しておりましたが、第1四半期会計期間より会計処理を変更し、貸借対照表に計上しないことといたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、2022年3月期についても遡及適用後の総資産額及び自己資本比率となっております。

(2) 取扱高

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
クレジット	681,677	27.1	758,888	29.2	11.3
カード・ペイメント	1,289,880	51.2	1,351,528	52.0	4.8
ファイナンス	372,322	14.8	306,811	11.8	△17.6
その他	174,507	6.9	182,579	7.0	4.6
計	2,518,388	100.0	2,599,808	100.0	3.2

(3) その他の情報

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

(4) 四半期個別財務諸表

① 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	124,877	135,721
割賦売掛金	2,667,215	2,799,380
前払費用	1,102	1,105
関係会社短期貸付金	54,270	57,644
立替金	49,771	26,372
未収入金	11,468	12,021
その他	22,795	22,517
貸倒引当金	△21,079	△20,384
流動資産合計	2,910,421	3,034,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,687	8,894
減価償却累計額	△5,680	△5,791
建物及び構築物 (純額)	3,007	3,102
工具、器具及び備品	2,520	2,572
減価償却累計額	△1,917	△2,049
工具、器具及び備品 (純額)	603	522
土地	14,828	14,828
その他	522	475
減価償却累計額	△365	△334
その他 (純額)	156	140
有形固定資産合計	18,596	18,594
無形固定資産		
のれん	500	400
ソフトウェア	24,430	25,248
その他	12	12
無形固定資産合計	24,943	25,661
投資その他の資産		
投資有価証券	19,771	18,932
関係会社株式	16,071	16,071
関係会社出資金	4,289	4,289
従業員に対する長期貸付金	45	46
関係会社長期貸付金	113,326	109,536
固定化営業債権	833	884
長期前払費用	206	191
繰延税金資産	1,865	1,773
差入保証金	1,301	1,262
前払年金費用	5,877	6,264
その他	1,989	2,097
貸倒引当金	△668	△643
投資その他の資産合計	164,909	160,706
固定資産合計	208,450	204,962
資産合計	3,118,872	3,239,342

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	133,705	155,281
買掛金	58,435	56,633
短期借入金	290,985	295,196
1年内償還予定の社債	40,000	45,000
1年内返済予定の長期借入金	156,591	151,340
1年内返済予定の債権流動化借入金	183,078	203,477
コマーシャル・ペーパー	423,500	443,500
未払金	3,491	3,483
未払費用	1,357	1,380
未払法人税等	3,842	4,128
預り金	72,791	70,922
前受収益	937	786
賞与引当金	2,629	2,638
ポイント引当金	2,655	2,799
債務保証損失引当金	1,243	1,154
割賦利益繰延	197,944	204,753
その他	27,968	27,393
流動負債合計	1,601,159	1,669,868
固定負債		
社債	229,929	214,953
長期借入金	692,693	707,589
債権流動化借入金	409,036	454,902
利息返還損失引当金	642	668
長期預り保証金	1,961	1,748
その他	355	349
固定負債合計	1,334,619	1,380,211
負債合計	2,935,779	3,050,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,138	16,138
資本剰余金		
資本準備金	30,468	30,468
その他資本剰余金	29	56
資本剰余金合計	30,498	30,525
利益剰余金		
利益準備金	2,572	2,572
その他利益剰余金		
別途積立金	43,229	43,229
繰越利益剰余金	82,530	89,172
利益剰余金合計	128,331	134,973
自己株式	△982	△929
株主資本合計	173,986	180,707
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,880	8,328
評価・換算差額等合計	8,880	8,328
新株予約権	226	226
純資産合計	183,092	189,262
負債純資産合計	3,118,872	3,239,342

② 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益		
事業収益	67,751	69,590
金融収益		
受取利息	520	485
受取配当金	725	884
その他の金融収益	13	62
金融収益合計	1,259	1,432
営業収益合計	69,011	71,023
営業費用		
販売費及び一般管理費	52,058	52,098
金融費用		
借入金利息	3,519	3,866
コマーシャル・ペーパー利息	138	129
その他の金融費用	884	1,117
金融費用合計	4,542	5,113
営業費用合計	56,601	57,212
営業利益	12,410	13,811
営業外収益		
雑収入	30	18
営業外収益合計	30	18
営業外費用		
雑損失	4	8
営業外費用合計	4	8
経常利益	12,435	13,821
特別利益		
投資有価証券売却益	110	—
特別利益合計	110	—
特別損失		
固定資産除却損	7	9
投資有価証券売却損	—	4
特別損失合計	7	14
税引前四半期純利益	12,539	13,807
法人税、住民税及び事業税	3,383	3,877
法人税等調整額	390	342
法人税等合計	3,773	4,219
四半期純利益	8,765	9,587